

2. 小規模特認校制度の導入について

(1) 水沢小学校の児童推計値の現状

現状	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
1年	25	16	7	9	10	11	8	8	7	8
2年	10	25	16	7	9	10	12	8	8	8
3年	16	10	25	15	7	8	10	11	8	8
4年	25	16	10	24	16	7	8	10	11	8
5年	21	25	15	10	24	15	7	8	9	11
6年	25	21	24	15	9	24	16	7	9	10
計	122	113	97	80	75	75	61	52	52	53

複式学級（黄色のセル）となる可能性

令和9年度以降
 複式学級となる可能性
 令和12年度以降
 各学年児童数が10名前後
 全校児童数50名程度

※青色のセルについては、三重県における複式学級の学級編制基準により、一学年1学級となる予定

(2) 導入に係る経過等

【令和5年7月11日 第1回水沢小学校のみらいを考える会】

水沢小学校の教育環境充実を目的とし、(令和9年度には2・3学年の複式学級が発生見込みのため) **令和7年度より小規模特認校制度を導入する方向で準備を進めていく。**

→令和6年度には制度利用者の募集（広報活動や入学申請手続き）がはじまるため、制度設計を令和5年度中に行う必要がある。

- 8/8、10 水沢小学校・水沢保育園PTA役員会
- 9/4 水沢地区自治会長会議
- 8/8 四日市市学校規模等適正化検討会議
- 8/9 教育委員会会議（特認校制度導入に向けた経過報告）

【令和5年9月15日 第2回水沢小学校のみらいを考える会】

制度設計にあたって要綱の骨子を参考に、運用のルール作りについて協議していただき、地域や保護者様のご意見をいただいた。

→特にPTAや地域活動への参加については協力をお願いにとどめて、制度利用者の通学距離や勤務地等の状況に応じて柔軟に対応いただく。

- 10/3 公立小学校・中学校校長役員会
- 10/4、5 公立・私立保育園、幼稚園、子ども園園長会
- 10/17 公立小学校・中学校校長会
- 10/23 四日市市議会教育民生常任委員会協議会
- 10/27 水沢小学校PTA合同役員会
- 11/14 水沢小学校保護者説明会
- 11/15 教育委員会会議（小規模特認校制度実施要項協議）
- 11/16 令和6年度就学予定者対象説明会（就学前検診時）

【令和5年12月5日 第3回水沢小学校のみらいを考える会】

本制度は、水沢小学校の教育方針に賛同することや地域やPTAへの協力を条件としていることから、水沢小学校の良さないしは「特色」であると考え以下3点

- 少人数の良さや強み
 - 地域資源を活用した教育活動
 - 水沢地域の子どもに対する見守りや温かさ
- について、広報だけでなく、見学や体験を通して実感としてより伝わる仕掛けを考えていく。

12/18 四日市市学校規模等適正化検討会議委員による水沢小学校視察

子どもたちの、非常にのびのびとした姿を見られた。一方で**大人の中において切磋琢磨する機会も必要である。合同交流授業など、いろんな場に出ていき経験値を積む場を設けることが子どもたちの成長に必要なと感じた。**

密度が高く、誰も取り残されない教育環境であると思った。特認校制度を今後運営していくにあたっては、**地域からのバックアップが必要であること、こうした高密度な教育が受けられることを発信していくことが重要であると感じた。**

(3) 小規模特認校制度実施要項の概要

○就学条件について

対象者：市内の新たに就学を予定している幼児、または市内他校に在籍する児童入学だけでなく転学も認める。

就学時期：原則、毎年4月1日、卒業までの在学

転居などやむを得ない事情がある場合は途中での変更を認める。

就学定員：各学年若干名

水沢小学校の教育環境が充実するよう募集人数については毎年度検討する。

学校見学及び体験：制度利用申請する条件として水沢小学校の授業・施設の見学や、体験入学を組み入れる。9月ごろに期間を設けて複数日の体験を実施予定。

ただし、新一年生には体験ではなく見学とする。

中学進学：本来校に戻ることも、西陵中学校へ進学することも選択可能とする。

(参考) 令和6年度スケジュール（予定）

